

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	インターンシップ 1	
科目基礎情報						
開設学科	応用生物学科	コース名			開設期	通年
対象年次	1年次	科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習			
教科書/教材	インターンシップ受け入れ先企業にて準備					
担当教員情報						
担当教員	実習先企業担当者			実務経験の有無・職種	有（職種は実習先企業担当者による）	
学習目的						
学内では体験しがたい活きた実務を、企業や大学の研究室などに行って経験する。企業でのインターンシップを通じて、働くことに対する理解を深める。また、働く場での自分自身の姿を事前に想像し、事後に振り返ることによって、自己理解を深め、自分自身に不足している能力を補完する。本実習の体験を活かし、学校でこれから何を学ぶべきか再認識し、将来のキャリアデザインについて具体的に考えることを目的とする。						
到達目標						
①専門学校で学んだ知識や実験技術が、企業や大学の研究室などでどのように利用されているかを体験し、今後の学内での勉強や卒業後において何が必要であるかを考えることができるようになる。 ②安全や環境に対する意識を高め、バイオ技術者としてのモラルや責任感、チームワークを支えるコミュニケーション能力、挨拶、マナーの重要性を認識できるようになる。 ③実習内容および実習先企業での社会的経験を報告書としてまとめ、担任に報告できるようになる。						
教育方法等						
授業概要	①学内での事前実習、②学外インターンシップ先での実習、③学内での事後実習（まとめ）の3部構成となっており、全時間の出席が義務となる。学外での実習体験を通じて、会社組織の一員としてのコミュニケーション能力、マナーや個人の責任感を修得させ、バイオ技術者としての倫理観の重要性を認識できるように構成されている。また、回数や時間数に関しては30時間を1単位として受け入れ企業との話し合いにより決定するものとする。					
注意点	参加には学科長および専任教員の面談が必要である。勉学意識に問題がある場合などは受講許可されないので承知しておくこと。 学外で実施するので、インターンシップ先の指揮・命令者の指示に必ず従うこと。また、参加前にインターンシップ保険に加入のこと（学生係にて各自申し込む）。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	60%	実習受入れ機関の評価に基づいて評価する			
	小テスト	0%				
	レポート	20%	提出された実習報告書の内容で評価する			
	成果発表 （口頭・実技）	20%	担任への報告内容で評価する			
	平常点	0%				
授業計画（1回～10回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	事前学習①		インターンシップに参加する意味を理解する			
2回	事前学習②		ビジネスマナー（服装、身だしなみ、言葉遣い、報告連絡相談の必要性）について知る			
3回	事前学習③		実習企業について調べ、業務内容を理解する			
4回	実習①		受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する）			
5回	実習②		受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する）			
6回	実習③		受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する）			
7回	実習④		受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する）			
8回	実習⑤		受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する）			
9回	事後学習①		実習報告書を作成することができる			
10回	事後学習②		担任に実習内容を報告することができる			
11回						
12回						
13回						
14回						
15回						